

心臓リハビリテーションNEWS

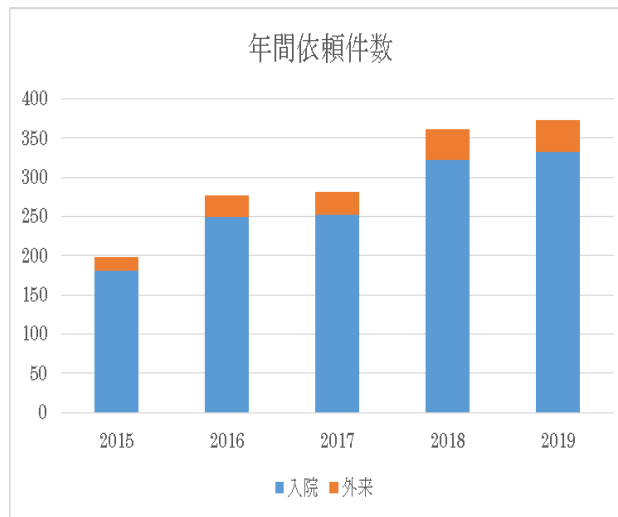
心臓リハビリテーション室開設5周年～これまでの歩みと当院の強み～

2015年6月に心臓リハビリテーション室が開設されて、今月で丸5年が経過しました。開設から現在に至るまで、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハビリスタッフ、事務スタッフ、その他多くの関係職種の皆様はもちろん、患者様にも支えられながら、5年間歩み続けることができました。

2012年頃、当院はカテーテル治療や心不全で多くの患者が入院していましたが、心臓リハビリテーションの知識をもったスタッフがいませんでした。今後さらに増加する心疾患に対して、専門スタッフの育成を行い、質の高い医療を目指そうと開設に向けた議論が始まりました。医師と理学療法士が先頭に立ち、日本心臓リハビリテーション学会に入会し、職場内の理解も得ながら、2013年・2014年に『心臓リハビリテーション指導士』認定を受け、開設へ大きく前進しました。現在心臓リハビリテーション指導士4名（来年度1名受験予定）

に増加し、当院受診の方だけではなく、他病院からの心臓リハビリテーション目的の紹介入院や外来リハビリの依頼もあり、年々実施件数が増えています。

この5年間で少しずつ当院の心臓リハビリテーションが地域に必要とされてきていると感じながら日々診療を行っています。



当院心臓リハビリテーションの強み

- ①急性心筋梗塞治療早期からの看護師と心臓リハビリスタッフの連携
 - ②高齢心不全患者の運動療法と作業療法士による生活指導
 - ③下肢閉塞性動脈硬化症に対するトレッドミルを使用した評価と治療
 - ④外来リハビリテーションの積極的な実施
 - ⑤多職種カンファレンスによる治療方針の共有（医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士）
 - ⑥多職種での再発防止指導（病態管理・運動・食事・薬剤・禁煙など）
- *心臓リハビリテーション指導士の他、慢性心不全認定看護師、腎臓リハビリテーション指導士、高血圧循環器病予防療養指導士など職能団体・学会から認定されたスタッフが連携しながら対応しております。

外来監視型心臓リハビリテーション風景

